

たごさん
いかさん

中野
劇団

たこさんいかさん

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

A

B

何処かの仕事場。AとBが仕事。声に合わせて動く二人。

Aの声 おい。島尾。……ちよつと来い。ええからちよつと来い。ええから。

Aに近づくB。

Aの声 ……何ですかやないわ。何やこれ。何やこれってって聞いてるねん。ホンマ何回

言わしたら気が済むねん。たこさんたこさんたこさんってきたら、たこさんたこさんいかさんや！ たこさんたこさんたこさんってきたら、たこさんたこさんいかさんや！ 何でたこさんたこさんたこさんってきて、たこさんたこさんたこさんやねん。たこさんばっかしやないか。たこさんたこさんたこさんってきたら、たこさんたこさんいかさんや。

B、ロバク。

Aの声 ……こら！ おま、何呼び捨てしとんねん。これでおまんま食わせてもらってんちやうんか！ いかさんや！ いかさんや！ 他の奴の仕事見ないから間違えるんやろ。普通に仕事してたら、たこさんたこさんたこさんってきたら、たこさんたこさんいかさんやなってわかるやろ。普段からぼーっとしすぎやねん！ 大体、たこさんたこさんたこさんってきてたこさんたこさんたこさんやといかさんが余っておかしい思うやろが。

B、ロバク。

Aの声 何やねん。もっとおっきい声で喋れ。そんなぼそぼそぼそ言うたかて、聞こえへんやろ。

B、ロバク。

Aの声 何でやねん。余らんわけないやろ。……何でや。たこさんたこさんたこさんってきたら、たこさんたこさんいかさんやのに、たこさんたこさんたこさんってきてたこさんたこさんたこさんやったら、いかさんが余らんとおかしいやろうが。いかさん何処にいったん。

B、ロバク。

Aの声 …いや、全部たこさんたこさんいかさんでもあかんて。たこさんたこさんたこさんがあるからたこさんたこさんいかさんがあるっていう話やん。わからんか？ たこさんたこさんたこさんがあるわけやん。せやからたこさんたこさんいかさん

があるんやん。全部たこさんたこさんいかさんやったって、そんなん全然やん。……せやけどこんな沢山たこさんたこさんたこさんなんはおかしいやろ。いかさん何処にいったんやって言うてんねん。

B、口パクしながらその辺を指さす。

Aの声 ……おま、あかん言うたやろうが。いかさんいかさんいかさんはやったらあかん言うたやないか。ホンマ何してくれてんねん。もうええ、触んな。ええから触んな言うてんねん。触んなって。向こう行っとけ。

泣くB。

Aの声 何泣いとんねん。こっちが泣きたいわ。謝ったって一緒じゃ。またやらかすわ。やらへん言うて、どないして信じろ言うねん。こんなありえへんことしてくれてからに。

間。

Aの声

……ええから顔洗って来い。その鼻水ついた手でたこさんを触るな！ 戻すな。ほらみろ、あーあ、たこさんかいかさなかわからんようになってもうたやないか。ホンマ、使えんやつぢやなあ。たこさんやろ。え？ 何でや。たこさんやろ。……いかさんか。おう、いかさんや。

終わり。